

CONTENTS

イントロダクション

東邦ガスグループの紹介

- 01 目次
- 02 編集方針／情報開示体系
- 03 東邦ガスグループの普遍的な価値観／理念体系
- 04 東邦ガスグループのあゆみ
- 05 東邦ガスグループの強み
- 06 東邦ガスグループの現在地



CHAPTER

01

東邦ガスグループの目指す姿

- 08 トップメッセージ
- 11 東邦ガスグループの目指す姿
- 12 わたしたちの思い、コミュニケーションフレーズ
- 13 マテリアリティ
- 15 価値創造プロセス
- 17 中期経営計画2025-2027

CHAPTER

02

価値創造に向けた戦略

- 20 財務戦略
- 24 事業戦略
 - 25 都市ガス事業(エネルギー × くらし)
 - 26 都市ガス事業(エネルギー × エンジニアリング)
 - 27 ガス導管事業
 - 28 LNG調達
 - 29 LPガス事業
 - 30 電気事業
 - 31 海外事業
 - 32 不動産事業
 - 33 カーボンニュートラル
 - 34 事業戦略を支えるDX・技術開発
- 35 人材戦略

CHAPTER

03

価値創造に向けた基盤

- 38 サステナビリティ経営の深化
- 環境
- 39 TCFD・TNFD提言に基づく情報開示
- 社会
- 43 人権尊重への取り組み
- 44 地域社会への貢献
- 46 株主・投資家とのコミュニケーション
- ガバナンス
- 47 コーポレート・ガバナンス
- 48 内部統制／コンプライアンス
- 49 社外取締役メッセージ
- 51 取締役および監査役

データセクション

コーポレートデータ

- 53 財務・非財務ハイライト
- 55 主要連結財務データ
- 57 外部機関の評価・表彰
- 58 会社情報／株主・株式情報

編集方針／情報開示体系

編集方針

編集方針

本年度の統合レポートは、東邦ガスグループの目指す姿の実現に向けた道筋について、ストーリー性を意識して編集しました。当社グループの強みを源泉とする価値創造プロセスをはじめ、企業価値の向上に向けた事業・財務・人材の各戦略、その基盤となるサステナビリティ経営の要素など、価値創造のストーリーや中長期戦略等に関する財務情報および非財務情報を統合的に整理することで、当社グループの持続的な成長可能性をお伝えします。

さらに、本レポートのストーリーを補完する具体的な取り組みや、サステナビリティに関する詳細データを掲載した「統合レポート アクションブック」を別途作成し、当社グループの多角的な活動をご紹介します。これら一連の開示資料が、ステークホルダーの皆さまとの有用なコミュニケーションのツールとなるよう、皆さまからのご意見等を踏まえながら、内容の一層の充実に努めてまいります。

報告対象期間

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)
活動内容の一部は2026年度を含んでいます。

報告対象範囲

原則として、東邦ガス(株)および連結子会社・持分法適用会社(2026年3月末時点)を「東邦ガスグループ」と表記しています。グループの一部に関する情報は、報告の都度、対象組織を明示しています。

将来の予想に関する記述について

本レポートにおける将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、本レポート内の業績予想とは異なることがありますことをご承知おください。

参考にしたガイドライン

IIRC国際統合報告フレームワーク
価値協創のための統合的开示・対話ガイダンス2.0
GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード
ISO26000
環境報告ガイドライン(2018年版)
気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言
自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)提言

発行部署

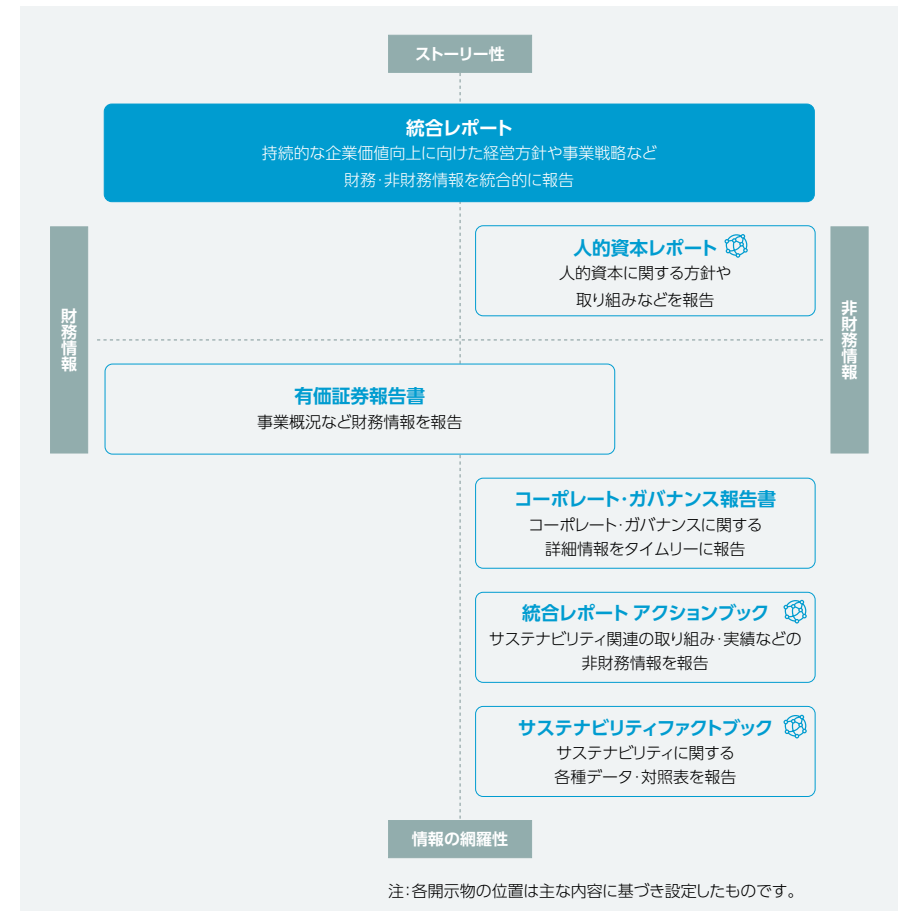
サステナビリティ推進部、財務部

発行年月

2026年8月(次回:2027年8月予定)

情報開示体系

財務・非財務情報を網羅した統合レポートを核に、詳細な数値を伝える有価証券報告書、ESGの取り組みに関するデータをまとめたサステナビリティファクトブックなど、各媒体の特性に応じた情報開示体系を構築し、ステークホルダーの皆さまへの透明性の高い情報発信に努めています。



東邦ガスグループの普遍的な価値観／理念体系

DNA

東邦ガスグループのDNA



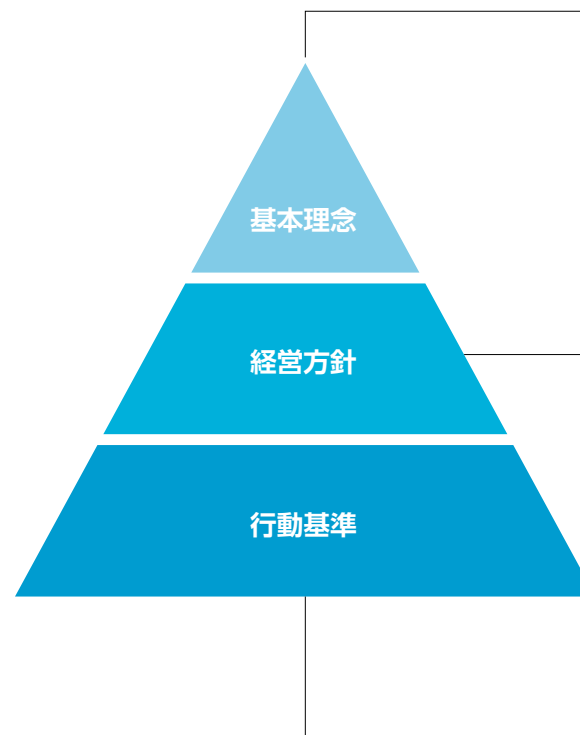
初代社長 岡本 櫻

三位一体の精神

お客さま、株主、従業員の
共存共栄が不可欠である

初代社長・岡本櫻はこの考え方を社会・公共面における奉仕論にまで広げ、地域社会の福祉の増進、地域社会との一体化を主張しました。その精神は当社グループのDNAとして受け継がれており、今後も地域社会との結びつきを深め、広範なステークホルダーにとっての利益を追求することで、持続的な企業価値の向上を実現します。

理念体系



基本理念

東邦ガスは、グループ各社とともに、
人々との信頼のきずなを大切に、
うるおいと感動のある
くらしの創造と魅力にあふれ、
いきいきとした社会の実現に寄与します。

経営方針

- 発想・行動の原点を、お客さまにおきます。
- 先見性と技術力で、自ら市場を創造します。
- 意欲と能力の発揮を重視し、ひとを育てます。
- 機動的で、活気にあふれた組織をめざします。
- 広い視野で、事業分野の拡大に努めます。

行動基準

- 変革への挑戦求め、そして創る
- 時代をよむ感性磨き、そして活かす
- 誇りうる専門性高め、そして広げる
- 意欲を生む明るさ ...語り、そして歓ぶ
- 信頼を育む誠意思い、そして動く

東邦ガスグループのあゆみ

HISTORY

1922—

東邦ガス設立

日本のガス事業は、1872年に横浜の馬車道界隈にガス灯を点灯する事業として始まりまし
た。1906年、全国で7番目の
ガス会社として名古屋ガス(株)
が創立。1922年に関西電気
(株)から分離独立したガス事業
部門と合併して社名を改め、東
邦ガス(株)が誕生しました。



東邦ガス初代社長
岡本 櫻

1959—

LPガス事業

1959年、LPガスの普及に向け
て東邦液化燃料(株)(現 東邦
液化ガス(株))を設立。都市ガ
ス事業と並ぶ柱と位置付け、LP
ガス事業を拡大してきました。



東邦液化ガス(株)名港LPG基地

1977—

LNGの導入

1977年、都市ガス原料として
化石燃料の中でCO₂排出が最
も少ない天然ガス(LNG)を導
入。地政学リスクなどに備え、調
達先の多様化を図っています。



名古屋駅周辺での天然ガス転換作業

2009—

都市ガス 輸送幹線の環状化

2009年、都市ガス供給基盤の
整備を進め、着工から35年に
及んだ全長約117kmの輸送
幹線の環状化が完成。これによ
り、供給能力や供給安定性が
向上しました。



環状幹線のガス開通式

2016—

電気事業

2016年、事業領域の拡大に向
け、小売電気事業に参入。安
定的な電力調達などを進めな
がら、電力販売を拡大してき
ました。



四日市発電所

2022—

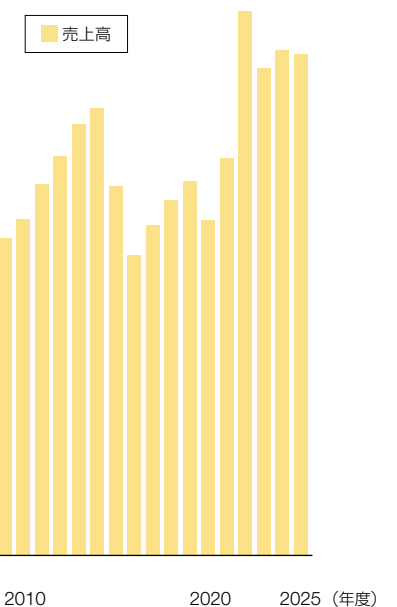
アジアの低・ 脱炭素化への貢献

2022年、アジアでのエネルギー
事業に参画。活動拠点の拡充
を進め、2025年にはシンガポ
ール事務所を現地法人化(東邦ガ
スシンガポール社※を設立)し、
各国の低・脱炭素化に貢献して
います。

※ TOHO GAS SINGAPORE PTE.LTD.
(2025年1月設立)



東邦ガス
シンガポール社の
オフィスが入るビル



1922 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2025 (年度)

東邦ガスグループの強み

STRENGTH

東邦ガスグループは、挑戦と創造の歴史を経て、強みを磨き上げてきました。

100年の事業運営で培った当社グループ固有の強みを発揮することで、中期経営計画における目標の達成と、グループビジョンの実現を目指します。

100年の 事業運営で 培った強み

関連する指標(2025年度実績)

多様なエネルギーの提供

地域のニーズなどを踏まえ、都市ガス、LPガス、電気に水素も加え、足元からの低・脱炭素化と、多様な手段の社会実装に取り組み、円滑なカーボンニュートラル移行を推進します。

- 都市ガス開発量: 0.3億m³
- 電気販売量: 29.0億kWh
- 水素販売量: 60t

安定供給を支える体制

高度な維持管理・保安技術や協力会社と連携した安定供給体制を基盤とし、地域のインフラを強固に維持します。

- 本支管の耐震化率: 98.3%
- 供給エリアのブロック数: 107ブロック

技術開発・ソリューション対応

メタネーション等の次世代技術や工業用・家庭用ガス機器の開発など、地域の課題に応える高度な技術力により、最適なソリューションを提供します。

- CO₂削減貢献量: 75.7万t
- ガスのカーボンニュートラル化率: 1.7%
- CN×P事業の売上高: 109億円

地域における事業基盤

地域に根差したエネルギー事業と、これまでの事業運営で培った知見などを活かし、地域のエネルギーインフラを支える基盤を構築しています。

- 保有技術の外部売上高: 62億円
- 自動化した業務プロセスの累計: 552件

お客さま接点

エネルギー供給に留まらず、くらしやビジネスの課題に寄り添う多様なサービスを通じ、多様で密接な地域のお客さまとの接点を持っています。

- エネルギー事業のお客さま数: 312.1万件
- くらし周り商材・サービスの売上高: 166億円

地域やお客さまからの信頼

長年の安全・安心な供給実績に加え、環境保全や地域共生の取り組みを通じて、地域やお客さまとの信頼関係を築いています。

- 地域共生の活動件数: 322件
- 環境保全の活動数: 18件

地域を支えることを使命とする組織風土・人材

ゆるぎない安全・安心の確保を通じた地域のレジリエンスに対する使命感、三位一体の精神をDNAとして継承する人材が、価値創造の原動力です。

- DX推進人材数: 224人
- 女性管理職数: 49人
- 障がい者雇用率: 2.55%

東邦ガスグループの現在地

東邦ガスグループは、安定した事業基盤のもとで事業規模の拡大と領域の多様化を進めています。
エネルギー供給を軸に、持続的な成長を支える事業構造を構築しています。

事業編



愛知・岐阜・三重を中心に、道路に敷設した導管により、お客さまに都市ガスを供給する事業です。都市ガス原料の調達から都市ガスの製造、供給、販売、ならびにガス機器の販売などを行っています。



LPGやLPG機器の販売に加え、LNG販売、熱供給事業、コークス・石油製品の販売などを行っています。また、近年高まる水素ニーズに応え、地域における水素サプライヤーとしての基盤構築を進めています。



お客さまに提供する多様なエネルギーの一つとして、電気の小売事業を展開しています。再生可能エネルギーを利用した電気料金プランや法人向け太陽光発電オンサイトサービスの提供などの電力サービス拡充を図るとともに、電源の低・脱炭素化に向けた取り組みも進めています。



海外における天然ガスの開発・投資をはじめ、不動産の管理・賃貸、プラント設備の設計施工、総合ユーティリティサービスなど、多様な事業を行っています。



数値編(2025年度実績)

お客さま数^{※1}



312.1 万件

都市ガス販売(国内)



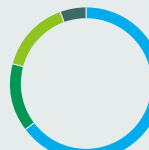
都市ガス販売量
第 3 位^{※2} 33.0 億m³

電力販売(国内)



電力販売量
第 16 位^{※3} 29.0 億kWh

セグメント別売上高



6,510 億円

セグメント別営業利益



317 億円

セグメント別資産



8,094 億円

● ガス ● LPG・その他エネルギー ● 電気 ● その他(連結調整額を含む)

連結従業員数^{※4}



6,131 人

連結子会社数^{※4}



30 社

※1 都市ガス・LPガス・電気合計の2025年度末の延べ契約件数 ※2 みなしガス小売事業者における順位。各みなしガス小売事業者の有価証券報告書などから算定 ※3 みなし小売電気事業者以外(新電力)における順位。資源エネルギー庁「電力調査統計」(電力需要実績)から算定 ※4 2026年3月末時点